【委員会名】　文教厚生常任委員会	
【日　　時】　令和８年５月７日（木）　１８時３０分～２０時００分	
【会　　場】　山崎本社みんなのあいプラザ	
質疑内容	会場での回答
各議員が、各地域のことだけやるのはダメではないか。より広域な連動ができるのではないか。宮島、佐伯、廿日市市内が連動できる。冠遺跡もあるし、県もほっておかないのではないか。速谷神社にも遺跡があると聞いている。	地元のことだけではなく、市全体の事を考えていく必要がある。実情は議員全員協議会や予算委員会などでは、議会全体で協議している。政策提言というもので、議員全体の意思を出していく方法がある。
・5年～10年先を見据え、活動をお願いしたい！（広報）	
（市民センター） 市内で数か所は指定管理となっているが、その評価はしているのか。（総務）	議会としては、指定管理者の任期が満了し再指定するとき、指定管理者選考委員会の評価し利用しやすさや利用人数などその結果の報告を受けている。その際、利用者からの苦情については聞き及んでいない。このことから、現状では各地元で一定の評価があると考えている。
地域で指定管理をすれば出来て、行政が担当すると、なぜきめ細かくできないのか。（総務）	地域の実情もわかっている指定管理者に委託する事で、ニーズの把握等もよりきめ細かくできていると考える。
若者や子育て世代を呼び込むには、まるくる大野のような魅力的な施設や、遊び場・学習スペースが必要ではないか。（総務）	高校生・大学生・若者の意見を聞くことが重要。行政だけで賑わいを作るのは苦手な面があるため、民間ノウハウやPFI等を活用しながら、子育てしやすく若者が滞在しやすい環境づくりを検討していく。
煙草を販売して税収があるのに喫煙所がない。廿日市の議員も市役所前のローソンで喫煙していて、見た目もよくない。医師会とのかかわりもあると思うが、たばこ税の税収に矛盾しているのではないか。（総務）	市役所内の喫煙スペース設置については確認して回答。たばこの分煙については、ご意見を伝えるとともに、委員会も含めて議論したい。
アレルギーの有無は自己申告なのか。不正受給など発生しないのか。	基本的にアレルギーの有無やアレルゲンについては学校入学時の健康調査で確認をしている。アレルギーのある児童は給食を食べずに弁当を持参する。給食費が無償化され不公平とならないよう、現金給付としている。
廿日市市内にアレルギーがあり弁当持参している人は何人くらいいるのか。	確認し回答
給食費未払いの方への対応は	今はいないと聞いている。
（新機能・シビックコア等への投資） 投資はよいと考えるが、将来の概算をしているのか	人口減少時代に向けて雇用や宅地開発をおこない、人口転出を防ぎ、産業団地の創設での税収見込みをしている。概算の詳細については確認して回答。
現金給付を受給したうえで「弁当としておにぎり１個」という家庭はないのか？	行政へ伝える。
（廿日市の人口目標） 廿日市の人口は今何人で、目標の数値は	２０３５年に１１万人を目標としている。
給食費５０００円程度の給付は毎月なのか、財源確保の持続性はあるのか。	資料を基に、原材料費に対する補助であること、人件費や光熱費は含まないと説明。
（令和8年度予算） 40億増えたのは、市の税収が増えたのか。	市税が増えたわけではなく、国や県の補助、市債等が増えた結果である。
給食試食会に行ったが、物価高騰の影響でおかずが少なかった。食材費が高いので行事食（クリスマス）の前は数日貧相な献立となっているのではないか。給食センターのかたも苦労されている。（パンにバターやジャムもなく、おかずは唐揚げ２個だけのときもある。） 親として、１００円程度でも多く支払うのでもっと充実したメニューにしてほしい。（阿品台在住）	金額３５０円は全国平均。給食のメニューは地域性がある。確認して回答。（廿日市の農業） 行政へ伝える。
（こどもの居場所・遊び場） 廿日市はこどもの政策がよく、引っ越してきた。未就学児はよいが、小学校・中学になると遊ぶところがなくなっている。今の時代は親同士が知り合わないと友達の家に行くことがない。屋根のある公園やボール遊びができる公園ができないのか	確認して回答
（物価高騰対応） かき養殖事業者に支援をしたのか。（産業建設）	県と連動して、借入の利子等の補助を行う予定である。
（こども食堂・地域食堂） 子ども食堂・地域食堂、地域イベントは市民センターの情報しかわからない。地元町内会にはいっているが、他地域の面白そうなイベント・集会所でのイベントにも参加したいので情報がほしい。	確認して回答
他の産業でも困っている業態はある。かき屋も派手な生活もしているので、すぐに行政が支援するのはどうか。（産業建設）	事業者支援だけでなく、障害者支援なども行っている。➡執行部へ伝える。

質疑内容	会場での回答
（新機能等） 新機能や未来物流など市全体をまたぐ事業が進んでいる。しかし市民の意見はない。人への投資もすると言っていた。新機能の商業施設が出来ると聞いているが、まだ決まっていないというで、市民は何もわからない。3年先の事をどの様に考えているか。全体をまとめる計画はあるのか。	市中心部の住工混在の解消につながる。ホテルを誘致することで、宮島だけでなく市内にもお金を落としてもらう。新機能の産業団地は既に埋まっており、物流系のため未来物流を造成している。全体をまとめる一番大きな計画として、令和8年度から始まる総合計画がある。
（フードバンク） 廿日市にフードバンクはあるのか。地元産の野菜など活用されているのか	廿日市市住吉にフードバンク・コミュニティフリッジがある。ひとり親世帯などが優先的に利用。余剰があればこども食堂にも食材提供している。 地元産の野菜の活用については確認して回答
（防犯灯） 防犯灯の補助は、全て市の負担にできないか。町内会の人数が減っていており、一人あたりの負担がきつい場所もある。広島市は市の負担と聞いている。広島市から来た人が廿日市市は非常に暗いと言っていた。補助の割合を上げられないか。	人口減により地域によって難しくなっている場所もあることは把握している。 ➡執行部へ伝える。
（障害福祉事業所への支援） 介護や福祉事業所の倒産が３年連続過去最高件数を更新している。値上げなどができない制度の中、燃料費高騰など物価高騰分を公定価格内で賄うのは困難。 国の助成による賃金引き上げは事業所による先払いが基本であり、小規模の事業所は先払いが経営上大きな負担となっている。具体的には処遇改善の助成金（広島県から支給）は６月中にある予定であるが、４月・５月分を労働者の賃金に反映できない。概算払いの仕組みにできないものか	市の保育園では概算払いの実績がある。確認して回答。 栗栖委員が一般質問予定。
（給食費無償化） 2023年に給食費無償化の請願を出したが、国からの補助がないと難しいと否決された。次に、国へ訴えてほしいと陳情を出したら、意見書を提出してくれた。若い世代も年上の世代も生活は大変。未来のある子どもたちを守る事が大切だが、議会の考えは。	請願の際は国の、動向をみるとの判断をした。今回、国の具体的な支援内容が決定したため、市としても小学校および中学校の給食費補助を決めた。
市長や議員がよく使う「未来への投資」とは具体的に何を指すのか。人口減少が進む中で、コンパクトシティや地域全体のまちづくりビジョンをもっと議論すべきではないか。	市長は『未来が面白い』『ベッドタウンからホームタウンへ』という考え方のもと、2035年までの長期計画、シビックコア、未来物流産業団地、新機能都市などを進めている。議会としても一般質問や政策提言を通じ、市全体の長期ビジョンについて議論・提案しているところである。
市債発行額が大きく増えている。長期金利上昇により将来の償還負担が増えるのではないか。議会に中長期の財政収支の説明はあるのか。	市から中長期の財政見通しについては毎年説明を受けている。将来世代に負担をかけない市政運営となるよう、議会として引き続きチェックする。
物価高騰に伴う給食費のスライドの仕組みはあるのか。	給食センター等の会議で給食費の値上げの際は、随時相談をしている。
シビックコアで図書館や市民活動センターを新たに整備・集約する必要があるのか。既存施設が使えるなら、身の丈に合った市政運営をすべきではないか。（産業建設）	公共施設マネジメントの考え方として、同じ機能を持つ施設を集約し、延床面積を2割削減する計画がある。すぐに建て替えるというより長期的な整理である。一方で、子どもや若者の自習・居場所スペースが少ないという課題もあり、機能のあり方を検討する必要がある。
自校方式が残っているが、将来的には経費の事もあり、単価もあがるので、全てセンター方式にできないのか。	佐伯地区だけは自校方式をしている。合併前の実情も考慮していると思われる。大野も元々は自校方式だったが、今は給食センター方式となった。 ➡執行部へ伝える。
（子育て） 子育て支援に偏ると考える年輩の人がいるのでは。	子育て世帯が転入することで、住民税は扶養の関係で当分待たなければならないが、固定資産税の市税収入が入ってくる。また、子育て世代の支援が重要と考えている年輩の方々の声も聞く。
（市民センター） 市内で数か所は指定管理となっているが、その評価はしているのか。（文教）	議会としては、指定管理者の任期が満了し再指定するとき、指定管理者選考委員会の評価し利用しやすさや利用人数などその結果の報告を受けている。その際、利用者からの苦情については聞き及んでいない。このことから、現状では各地元で一定の評価があると考えている。
（児童館） 廿日市小の留守家庭児童会は満杯となっているが、大丈夫か。今後どうするのか。	執行部へ伝える。
地域で指定管理をすれば出来て、行政が担当すると、なぜきめ細かくできないのか。（文教）	地域の実情もわかっている指定管理者に委託する事で、ニーズの把握等もよりきめ細かくできていると考える。
高齢者インフルエンザ予防接種を無償化する必要性に疑問。すでに1,500円に軽減されており、全高齢者ではなく高齢者施設入所者などリスクの高い人に限定すべきではないか。議会で疑問の声は出なかったのか。	国からの臨時交付金を市民へ還元する中で、現金給付だけでなくインフルエンザ無償化や給食費支援等に振り分けた。高齢者の重症化予防により後の医療費抑制にもつながるという行政提案を受け、議会として賛成した。ばらまきではないかという意見は貴重な意見として持ち帰る。

質疑内容	会場での回答
若者や子育て世代を呼び込むには、まるくる大野のような魅力的な施設や、遊び場・学習スペースが必要ではないか。（文教）	高校生・大学生・若者の意見を聞くことが重要。行政だけで賑わいを作るのは苦手な面があるため、民間ノウハウやPFI等を活用しながら、子育てしやすく若者が滞在しやすい環境づくりを検討していく。
（子育て） 外から本市へ転入される子育て世帯が多いとの話を聞くが、市はよく頑張っていると思う。（文教）	
インフルエンザ予防接種無償化に疑問が多ければ、補正予算に対して修正案を出すこともできたのではないか。	補正予算はインフルエンザ予防接種無償化だけでなく複数項目を含む全体の予算として審議した。各項目について質疑は行ったが、反対・修正に至るほどの判断にはならず、多数決で可決された。賛否は議会広報で確認できる。
インフルエンザ予防接種は、どの程度の人が受けているのか。受けない理由は費用なのか、必要性を感じていないからなのか。	実績は前年ベースで確認することになる。今年度はまだ実績が出ていない。未接種者も一定数おり、費用面・必要性の認識など理由は分かれる。重症化予防の観点から予防接種は必要と考える。
煙草を販売して税収があるのに喫煙所がない。廿日市の議員も市役所前のローソンで喫煙していて、見た目もよくない。医師会とのかかわりもあると思うが、たばこ税の税収に矛盾しているのではないか。（文教）	市役所内の喫煙スペース設置については確認して回答。たばこの分煙については、ご意見を伝えるとともに、委員会も含めて議論したい。
小中学校給食について、食べる子ども本人の満足度や量・栄養面をアンケート等で確認しているのか。予算ありきではなく、子どもの声を踏まえるべきではないか。	給食の満足度調査は行政が把握している可能性があり確認が必要。物価高騰により単価は上がっているが、栄養士がバランスを考えて献立を組んでいる。中学生は体格差があり量の問題もあるが、配膳時に減らす・おかわりする運用がある。
令和７年度の税収は（たばこ税）	6億５千万円
（インバウンドについて） 宮島の宿のひとから「宿泊のキャンセルがでたらその後予約が入らない」と聞く。現在、世界情勢も不安定なのでインバウンドが増え続けるという考え方は不安。しっかりした財政をおこなってほしい。（産業建設）	行政へ伝える。
臨時交付金の使い道として、なぜインフルエンザ予防接種無償化や給食費支援に充てるのか。給食費無償化は一時的なものか、恒久的なものか。	国からの交付金をもとに、市民への3,000円給付、非課税世帯支援、インフルエンザ予防接種無償化、給食費支援等に配分した。給食費については、将来的に恒久的にしていく考えで、財源としてボートレース収益や宮島訪問税等を活用できる可能性がある。
・地域に差がありすぎる。上平良山けずるなら、小学生中学生の居場所がほしい。大野は遠い。（文教）	
保育園給食の完全給食について、主食を家庭から持参するのではなく、業者から米飯を購入して食缶で提供すれば保護者負担を軽減できるのではないか。	調理室設備や制度上の制約があり、市答弁は消極的だったが、業者から米飯を購入する方法は現実的な提案として受け止める。保護者に実際のニーズがあるかも含め、今後の検討材料とする。行政へ伝える。
学校グラウンドを放課後や休日に地域の子どもが自由に使えるようにしてほしい。安全対策は必要だが、閉めるのではなく、地域の見守りや声かけで開いていく仕組みを考えるべきではないか。	学校によって運用が異なり、校長権限の可能性もある。教育委員会の方針を確認する。安全確保、事故時の責任、地域見守り、シルバー人材等による見守り配置などを含めて検討課題として持ち帰る。行政へ伝える。
介護施設で人材不足が深刻。派遣会社・紹介会社に人材が囲い込まれ、紹介料が高額で、介護報酬が職員処遇や利用者サービスではなく派遣会社に流れている。市として対策できないか。	市単独で民間の派遣契約や紹介料を直接規制することは難しく、派遣事業法等の国レベルの課題が大きい。ただし、介護現場の実態として重要な問題であり、国への制度改善要望や市独自の定着支援・就職支援策の可能性を調査する必要がある。行政へ伝える。
シルバー人材センターやタイミーのような仕組みを活用し、短時間でも介護施設や学校見守り等に人材をつなげる仕組みは作れないか。	シルバー人材センターは市直営ではなく、市が補助金を出している団体である。短時間人材を地域ニーズに合わせてつなぐ仕組みは検討の余地がある。
（子育て） 外から本市へ転入される子育て世帯が多いとの話を聞くが、市はよく頑張っていると思う。（総務）	ありがとうございます。
意見交換会の説明時、手元の資料があると分かりやすかった。資料を配布・持ち帰りできるようにしてほしい。広報さくらを見ても、スライド内容と連動していない。全然わからない。お粗末である。	次回以降、説明資料の配布、持ち帰り資料、要点メモの用意を検討する。
地産地消の割合は 食料自給率は 一次産業の農業を子どもに継がせたくない人も多い。そのため休耕田もふえているが、耕作率も考えての政策はあるのか（産業建設）	確認して回答
＜内容について＞ ・介護現場の実態。保育所の実態などを知ることができた点は良かった	
議員はこういった場では、市民から叱られたりすると思うので大変だと思うが、やってもらって有り難い。	

質疑内容	会場での回答
＜意見、感想＞ ・「学校給食費の無償化」というが、そもそも1食350円という現状の価格が適正なのかという議論を経て、その金額を決められたのか。物価高により350円でなんとかしてきたという背景があるのなら、その予算自体を見直してからでないと真の意味での「無償化」とは言えないのでないか。（食材量足りているか、十分な栄養をとれているか。） ・現在の給食の内容が不十分（足りない・少ない）という話を聞いた。「無償になるのはうれしいが、むしろ払ってでも一品増やしてほしい」というご意見を聞いた。保護者に対し、実際のニーズを調査してほしい。	
＜報告会の会場について＞ ・出来れば（土）（日）の午前中 ・子育て世帯（お母さん）に18：30は厳しい	
・世代に合っている。 ・タイミングもある。人数については適切な人数かと思われました。	
・地域に差がありすぎる。上平良山けずるなら、小学生中学生の居場所がほしい。大野は遠い。（総務）	
・学校のプールをＪＳＳ・フィッタがあるので、そちらで通年利用してはどうか（バスなど出す）水道代、維持費を考えればバス代も出る？（win winなのでは？）	
・中央市民センター ・交通の便及び駐車場利便よい	
・開催場所6カ所と聞いたがもう少し地区ごとでも聞いてほしいです。 ・地区住民に近い　集会所　市民センターが良い	
・公立保育園再編問題。すでに公私連携保育園でいろいろ問題が起きてます。今以上、公立保育園を廃止することには基本的に反対です。市民の代表である市議会議員として、しっかり考え議論していただきたいと思います。公立の歴史、良さを継続してほしいです。園庭のない保育園もあり、その辺の改善も課題だと思います。よろしくお願いします。	
地産地消の割合は 食料自給率は 一次産業の農業を子どもに継がせたくない人も多い。そのため休耕田もふえているが、耕作率も考えての政策はあるのか（文教）	確認して回答
（老朽化した下水道管） 廿日市全域の下水道管の老朽化については大丈夫なのか	以前、陥没事故を起こした事例もあり、一般質問などでも取り上げられている。 大口径の下水道管は処理場周辺くらいしかなく、廿日市市自体が下水道整備をはじめて日が浅いため、腐食などによる劣化までには至っていない。調査も行っているため心配はないと考える。
＜内容について＞ ・資料のサービスレベルが低い。（給食に絞った手元資料を出す） ・スライドが見えにくかった。ポイントを押さえた文字が大きいスライドにした方がよい。	
・意見交換の時間があってよかったと思います。 ・報告会の充実をさらに進めて下さい	

質疑内容	会場での回答
県道はいつ出来るのか、どこのホテルが来るかなどの情報がない。ＣＧは見たことがあるが、情報がないため、地元としては様々な動きをする人がいて困る。	議会として確定的な情報が出た際には、きちんと地元へも伝える。➡執行部へ伝える。
・発言者が偏り長い 司会者は時間配分して欲しい	
佐方や宮島口周辺などで下水道整備が進んでいない。新しい施設整備より、下水道など基礎インフラを最優先すべきではないか。	都市基盤として下水道整備は重要であり、整備計画に基づき順次進めている。ただし財源の制約から一気には進められない。市民にとって大事なインフラから優先されているか、議会としてチェックする。
（インバウンドについて） 宮島の宿のひとから「宿泊のキャンセルがでたらその後予約が入らない」と聞く。現在、世界情勢も不安定なのでインバウンドが増え続けるという考え方は不安。しっかりした財政をおこなってほしい。（総務）	行政へ伝える。
＜広報さくらについて＞ ・ページ数の関係もあるかもしれないが、一般質問のコーナーもう少し詳しく知りたかったりする。	
（物価高騰対応） かき養殖事業者に支援をしたのか。（総務）	県と連動して、借入の利子等の補助を行う予定である。
・もう少し読みやすく工夫出来ないか	
・各委員会のメンバー表は毎号に掲載する。	
他の産業でも困っている業態はある。かき屋も派手な生活もしているので、すぐに行政が支援するのはどうか。（総務）	事業者支援だけでなく、障害者支援なども行っている。➡執行部へ伝える。
＜意見、感想＞ ・参加された方々が非常にすばらしい。意見を持たれている。 ・議員の皆さんが、誠実に対応していただき、意見交換が有意義だった。 ・皆さんの意見や考えが聞けて良かったです。 ・今後も開催して欲しい。 ・ワンダフルみんなともだちワンダフルだよ。 ・面白かった。	
シビックコアで図書館や市民活動センターを新たに整備・集約する必要があるのか。既存施設が使えるなら、身の丈に合った市政運営をすべきではないか。（総務）	公共施設マネジメントの考え方として、同じ機能を持つ施設を集約し、延床面積を2割削減する計画がある。すぐに建て替えるというより長期的な整理である。一方で、子どもや若者の自習・居場所スペースが少ないという課題もあり、機能のあり方を検討する必要がある。
・もう少し話し合う時間がほしい ・年間3回ぐらい議会報告会を実行して下さい。 ・時間が短い。	
・各委員、胸に名札をつけておく方がわかりやすい。（・・・後で配っていたが。） ・資料提示各人にほしい。	翌日に反映
・議会報告会の存在も知らなかった。周知させる方法はないか？	
・担当部署に聞いときます。調査しときます。が多かったので・・・意見交換というよりは意見伺いという感じだった。	
・廿日市市の中でも住民と議会が一緒になって問題を討議できるのはとてもすばらしいと思いました。できれば市民の考えや問題をきく時間を長くとって欲しいです。	
・市民の暮らしを守るのが行政の役割。市議会は市民の代表。特に社会的弱者の支援、生活実態にしっかり目を向けていただきたいです。お世話になりました。	
・もう少し字を大きくした方が良いです。	
・課題をはっきりと指導するべき	
・5年～10年先を見据え、活動をお願いしたい！（議運）	